

飛騨農林事務所の普及活動状況（令和6年2月29日現在）

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■ほうれんそう・トマト 岐阜県園芸特産振興会 60周年大会で事例発表

2月20日に岐阜県園芸特産振興会60周年大会が開催され、飛騨地域の生産者2名がほうれんそう・トマトについて事例発表した。

生産者が自らの取組について、多くの生産者や関係者の前で発表する貴重な機会となった。

ほうれんそう・トマトの高単収、規模拡大を実現するための、栽培上の工夫など具体的な内容で、参加者も熱心に聞き入っていた。

農業普及課では、発表に向けた支援を行った。農業普及課としても、事例を参考にして、ほうれんそう・トマトが安定出荷できるよう情報提供等支援する。



【生産者が事例発表】

■担い手・新規就農者 農産物流通視察研修が開催される

飛騨地域新規就農者育成協議会は、2月19、20日に新規就農者と農業長期研修生を対象とした農産物流通視察研修を開催し、12名が参加した。農業普及課も当協議会の構成員として開催を支援した。

岐阜市中央卸売市場の視察と岐阜中央青果株式会社担当者との意見交換に加え、県スマート農業推進センターでのスマート農業に関する講義、スマート農業機械やハウス内複合環境制御装置等の視察を行った。参加者らは、活発に質問するとともに、参加者同士でも交流を深める機会となり、実りある研修となった。

農業普及課は、今後も飛騨就農支援塾等の研修会の開催支援をとおして、新規就農者や農業長期研修生が早期に栽培技術・経営管理能力を習得できるよう支援を行う。



【スマート農業推進センターでの講義】

■女性農業経営アドバイザー 冬季視察研修会の開催

2月21日に、「岐阜県女性農業経営アドバイザーいきいきネットワーク 飛騨ブロック」の冬季視察研修会が飛騨市古川町で開催された。

会員18名が、飛騨地域では数少ないイチゴの観光農園「飛騨古川 池田農園」と、飛騨市が推進している薬草を料理に提供している旅館「蕪水亭」の視察を行った。

池田農園では、代表の池田俊也さんより観光農園設立までの努力と、これからの取組について講義を受けた。蕪水亭では薬草の種類やそれぞれの効能、料理での使い方等を学んだ。

参加者からは、「池田農園の取り組みが非常に参考になった」「農業で悩まされている雑草のスギナが薬草であると知って驚いた」との声が聞かれ、充実した研修会となった。

農業普及課では、これからも農業における女性の活躍を推進するため、女性農業経営アドバイザーの活動を支援していく。



【池田農園での視察】

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■岐阜県朝市連合 魅力ある直売所づくり研修会で事例発表

岐阜県朝市連合は、飛騨地域を含めた県内10地域の朝市・直売所、約160施設が会員となっており、研修や情報交換を行っている。飛騨地域は18施設が会員となっている。

2月22日、岐阜県朝市連合の研修会がオンラインで開催され、飛騨地域から飛騨産直市そやなの牧ヶ野店長が「飛騨産直市そやなの先進的な販売促進」と題して事例を発表した。SNSを活用した広報活動や各種イベントの開催が、売り上げや来客数の増加につながっているなど貴重なお話をいただいた。

農業普及課では今後も研修会や情報提供を通して、朝市・直売所の活動を支援していく。



【牧ヶ野店長（通称トマト店長）による事例発表】

ぎふ農畜産物のブランド展開

■夏秋トマト データ駆動型事業成果検討会を開催

飛騨野菜出荷組合トマト部会を中心とする「飛騨夏秋トマトスマート農業協議会」では、令和3年度から国のデータ駆動型農業の実践体制づくり支援事業にて、スマート農業の導入に向けた技術実証に取り組んできた。

2月9日に実証成果の検討会を会場及びリモートで開催し、トマト生産者をはじめ関係者14名が参加した。検討会では、農業普及課から灰色かび病対策および結露対策の実証結果を報告した後、今後の取組について協議した。

事業は今年度で終了するが、環境モニタリングに基づく「灰色かび病警報システム」を引き続き運用していくよう、飛騨野菜出荷組合トマト部会と協議していく。



【実証の結果を報告】

■水稻 「第2回ひだほまれ品質コンクール」審査会

2月14日、「第2回ひだほまれ品質コンクール」の審査会が開催された。このコンクールの目的は「ひだほまれ」の品質の底上げにより、ニーズに合った酒造り・米作りを目指すことである。

審査会では、農業普及課、試験場、JA、酒造メーカー等が審査員となり、整粒率等のデータにより選抜された上位6点について心白の位置や大きさを目視で判定し、金賞3点を決定した。令和5年産米は前年に比べて整粒率が全体的に高く、胴割れが少ない傾向がみられた。

農業普及課では、今後も良質な「ひだほまれ」を安定生産できるように栽培技術情報の提供等の支援を行っていく。



【目視により審査】